

組織の目に見えない所を変えるお手伝い



おぐらゆずる

小倉 譲 (修士・経営学/MBA)

コウベ・ナレッジ・プラットフォーム株式会社 代表取締役
NPO 法人しゃらく代表理事

立命館アジア太平洋大学を卒業後、アパレルメーカーに勤務。激務の中、モチベーションを保ちながら働くには「やり甲斐・働き甲斐・利益」が必要でと考える、まずは「やり甲斐」を求めて独立。その後、祖母や父親・妻が同時に入院し1年間に渡り父親の介護などを経験。仕事と生活をコントロールできる「働きやすさ」が人の幸福感を生むことを知る。

それらを切っ掛けに（特活）ワーク・ライフ・コンサルタント（副代表理事/現退任）に10年在籍し、ワーク・ライフ・バランスに関するマネジメント、組織開発によるコンサルタントとして活動してきた。現在は、コウベ・ナレッジ・プラットフォーム株式会社にて、中小企業や病院の支援活動を実施している。

大切にしている視点

経営層は組織を「変えたい」と思い様々な取り組みを実施しても変わらない。それは、経営層が社員に対して無意識に強制（評価・罰則・刺激）していることが多々見受けられ、組織が変わらない真因であるように思います。これらは外発的動機付けといい、一時的な効果はありますが直ぐに元の状態に戻ります。

目に見える日常の業務には、目に見えない個人の習慣、組織の慣習など構成員の間で共有されている行動原理や思考様式によって支えられています。組織を変えるには、構成員一人一人の意識や関心を変えないと組織は変わりません。自組織におけるWLBの実現においても、どれだけ「制度」が充実していても制度を利用できる雰囲気がないと意味がありません。私は、目に見えない組織文化を変えることこそがより良い組織に変革するための手法であると考え、内発的動機付けの観点からお手伝いさせていただいております。

コンサルティング実績

大手メーカーをはじめ、中小企業などコンサルティングを実施。関わった企業は200社を超える。現在もプロジェクト型（1年～3年契約）で組織変革を支援するクライアントを複数社持つ。その他、大手企業や労働組合、大学などで年間30本以上の講演・アドバイス実績を持つ。